

○ 北信地域 ～ 未来につなげ！ 人と地域が織りなす 北信州の食と農 ～

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	1,219 経営体	1,225 経営体	経営体	1,250 経営体
	新規就農者数 (49 歳以下)	20 人/年	31 人/年	53 人/年	31 人/年
2	化学合成農薬・化学肥料を原則 50%以上削減した栽培や有機農業に取り組む面積	401 ha	506 ha	475 ha	610 ha
	農業用ドローンによる防除面積	45.2 ha	55 ha	51.6 ha	70 ha
3	果樹県オリジナル品種等の栽培面積	460 ha	524 ha	470.7 ha	620 ha
	野菜・花き振興品目の栽培面積	598 ha	626 ha	154.9 ha	670 ha
4	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	4,266 ha	4,192 ha	4,165 ha	4,200 ha
5	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	4 箇所	7 箇所	8 箇所	9 箇所
	湛水被害から農村を守る排水機場のポンプ設備の更新機数	—	0 機	0 機	4 機
6	農産物直売所の売上高	18.3 億円	20 億円	億円	23 億円

重点取組 1：人材の確保と皆が憧れる経営体の育成

- 農業経営者総合サポート事業等の活用による中核的経営体の経営発展への支援
 - ・重点支援対象者（13 人）への巡回等の伴走支援と専門家派遣（4 回）による課題解決を支援
 - ・「雇用・労務管理」のポイント等の理解促進を図るため、農業経営セミナーを開催（1 回）、併せて個別経営相談を実施（4 経営体）
- 「北信州農業道場」等による新規就農者育成と多様な担い手の確保
 - ・意欲ある新規就農者を地域の担い手として育成・定着するため、北信州農業道場の品目別コース（ぶどう、野菜・花き）と選択別講座（5 講座）の開催
 - ・新規就農者、北信州農業道場の受講生等の交流を促進するため、青年農業者の課題解決発表の交流会を開催（1 回）
- 担い手の経営を支える雇用労働力の確保に向けた支援
 - ・果樹生産における農作業労働力確保の体制構築に向けた、農作業入門講座の開催及び 1 日農業バイトアプリの利用を推進（3 回）
- 地域農業を支える多様な担い手の生産設備整備等の支援
 - ・白ネギの育苗ハウス導入支援



【北信農業道場の講座風景】

重点取組 2：環境にやさしい農業の取組とデジタル技術等の活用

- 環境負荷を低減した環境にやさしい農業の推進と安全安心な農畜産物生産への支援
 - ・グリーンな栽培体系への転換のための緑肥を活用した実証ほ設置（3 箇所）
 - ・中干し期間の延長による水田からのメタンガス発生抑制の講習会（2 回）
 - ・展示ほを設置（1 箇所）し、環境にやさしい栽培体系への転換を支援

重点取組 3：マーケットニーズに対応した北信の農畜産物の生産強化

- 需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の安定生産と収益性の高い米生産を推進
 - ・温暖化の中で米の品質向上を図るため、施肥に関する試験ほの設置（1 箇所）と研修会を実施
 - ・需要にこたえる品質の高い酒米生産のため、JA と連携し指導会を開催（4 回）
- 果樹県オリジナル品種等の生産拡大と高位安定生産を推進
 - ・クイーンルージュ®の着色安定技術の検討と収穫適期を把握し、検討会（1 回）を実施
 - ・産地生産基盤パワーアップ事業等を活用したぶどう棚の整備や冷蔵庫等のリース導入支援
- 野菜・花き振興品目の生産を推進
 - ・アスパラガスの生産振興のため、枠板式高畝栽培、自動かん水システム、短期完結栽培等の高

- 単収省力化技術の実証と、雨よけ栽培モデルほ場（3か所）を設置
- ・信州の伝統野菜の品質向上と収量確保のため、現地指導会を開催（3品目各2回）
- ・シャクヤクの安定生産に向け、露地栽培の凍霜害対策実証モデルほ場を設置（2か所）
- ・トルコギキョウの安定生産に向けた土壌消毒実証ほ場（1か所）を設置



【ジュース用トマト】

- **きのこの栽培環境対策と異物の混入防止及びGAP手法に基づく衛生管理基準の強化**
 - ・異物混入防止のため、JAと連携して現地巡回を実施し改善策を提案（55施設）
 - ・JGAP等認証取得を推進（ASIGAP取得支援1件）
- **家畜の飼養衛生管理及び危機管理体制の強化**
 - ・家畜防疫対策強化に向け、特定家畜伝染病の防疫演習（1回）の実施と、飼養衛生管理の徹底を推進

重点取組4：農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

- **「地域計画」に基づく適切な農地利用**
 - ・「地域計画」策定に向けた検討会等の開催を支援（41回）。
 - ・荒廃農地の発生防止と活用を図るため、そば、さつまいもの栽培指導会（計2回）を開催
- **地域ぐるみで取り組む多面的機能の維持**
 - ・農地、水路・農道等の保全活動等を行う地域ぐるみの共同活動に必要な、多面的機能支払事業の活動組織に対する研修会を実施（6市町村）
 - ・地域資源の保全や生活支援など集落維持に取り組む地域運営組織（農村RMO）への支援（1組織）
- **美しい棚田や起伏のある地形から生まれる農業用水のもつポテンシャルなど地域資源を生かした農村の活力創出**
 - ・農業資産を核とした地域学習の取組支援（1か所）
- **野生鳥獣被害の実態に応じて総合的に実施する地域ぐるみの被害防止対策を関係機関連携により支援**
 - ・広域電気柵の適正な維持管理指導のため、パトロールを実施（2回）
- **雪室等地域資源を活用した農産物の高付加価値化の取組を支援**
 - ・ブランド米の雪室活用による食味維持試験を実施（3回）



【地域計画検討会】

重点取組5：安全安心で持続可能な農業・農村の基盤づくり

- **農産物の安定生産と品質確保に必要な農業用排水施設と畑地かんがい施設の計画的な長寿命化**
 - ・果樹産地の畑地かんがい施設の計画的な更新（1地区）
 - ・基幹水利施設の計画的な更新に向けた改修計画の策定支援（2地区）
 - ・小規模な水利施設の長寿命化対策に係る支援（9地区）
- **頻発化・激甚化する災害から暮らしを守る農業・農村の強靱化**
 - ・湛水被害から農村を守る排水機場の整備（2地区）
 - ・防災重点農業用ため池の地震耐性評価を実施（5池）
 - ・地すべりのおそれがある地域における防止工事を実施（4地区）
- **農業用ため池などを活用した流域治水対策への支援**
 - ・市町村が行うため池を活用した洪水調整機能強化に対する支援（1地区）
- **「地域計画」に基づいた稼ぐ産地を支える基盤整備の推進**
 - ・地域が考えるの営農の実現に向けた基盤整備への計画策定支援（2地区）
- **中山間地域など地域の実状に応じたきめ細かな基盤整備の推進**
 - ・中山間地域における農業を核とした地域活性化のため必要な農業基盤整備を実施（1地区）



【地すべり防止工事】
（排水路工）

重点取組6：食の地産地消の推進と次代への伝承

- **飲食店・宿泊施設等関係事業者と連携した地域食材を提供する機会の拡大**
 - ・関係機関一体となり飲食店等における地元食材を活用したフェアを開催（1回）
- **学校や地域において、次代を担う子供たちを中心に食育を推進**
 - ・給食事業者等と連携した収穫体験等の食育を開催（4回）



【栽培きのこの収穫体験】